

令和4年度 沖縄型産業中核人材育成事業
＜安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム＞
【募集要項】

1. 研修概要

(1)研修目的

本研修の目的は、観光衛生マネジメントの必要性（コロナショックを受けて安全・安心価値が最上位になったこと）、沖縄型ウェルネスツーリズム普及の必要性（ウェルネス産業市場の拡大が世界の潮流であること）を踏まえた安全・安心なウェルネスツーリズムを創出できる人材の育成です。期待する効果は、当面続くことが予想されるウィズコロナの渦中および再来が避けられない新興感染症と共存するニューノーマルな観光の時代において、国内において競争力を発揮できる人材（沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーター）が育成されることです。講座では、DX時代に活躍する人材に必要なITリテラシーを含めた幅広い知識や技術が習得できる内容を提供します。

沖縄型ウェルネスツーリズムは、プレーヤーとされる観光関連事業者のみでなく、島嶼地域に根差し資源の活用と保全に熟知した地域（資源・人・コミュニティ）と直接結びつきます。地域が協働で、地域資源を「ウェルネス資源」という新しい価値として生み出していくことで、提供サービスの付加価値が高まり、生産性が向上します。また、地域の1次、2次産業企業とのアライアンスにより収益の県外移転を抑制する課題解決にも通じます。

▶目指すべき人材像に求められる知識・技能（※別紙のカリキュラム（予定）もご参照下さい）

- ・観光衛生マネジメントに関する知識
- ・観光衛生マネジメントの具体的な手法および現場への適用に関する技能
- ・沖縄および地域の観光の現状と課題の捉え方に関する知識・技能
- ・観光の現状と課題を踏まえ、現実的かつ有効な観光資源の活用方法を見出す技能
- ・ウェルネスとSDGs（持続可能開発目標）の関係性に関する知識
- ・地域の観光資源をウェルネス資源として捉え、SDGsの達成に寄与するウェルネスツーリズムを創出できる技能

(2)研修期間等

本講座では座学とフィールドワークを実施予定です（初回ガイダンス含め全18回、計6日間）

- 1日目： 8月26日（金）13：00～15：00／初回ガイダンス（第1回）
- 2日目： 9月9日（金）9：00～17：30／第2回～5回
- 3日目： 10月6日（木）9：00～17：30／第6回～9回
- 4日目： 11月4日（金）9：00～17：30／第10回～13回
- 5日目： 11月26日（土）9：00～17：00／第14回～16回
- 6日目： 11月27日（日）9：00～17：00／第17回～18回

- 注1) 感染症拡大抑制の観点、講師や視察先の都合等により日程が変わる可能性があります。
- 注2) 1回の講座は1～2時間程度で構成され、毎回の講座でその内容の理解度を評価する試験を行います。
- 注3) 第1-13回までの座学研修は新型コロナ対策の為、原則Zoomを使ったオンライン研修を行います。
- 注4) 第14-16回にはフィールドワーク・技能講習を、第17-18回にはグループワークによる課題作成と発表を行い、審査員による採点が行われます。第14-18回の最終2日間は、リアル開催、終日参加の集中開催を予定しております。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大状況により開催方式を変更することがあります。

(3) 参加費用（受講料）は無料

- 注) 離島から参加される方の往復航空運賃は、当事務所で規程した金額を支給いたします（恐れ入りますが、宿泊代は自己負担となります）。なお、予算に限度がありますので、限度を超える志望者がいた場合には、参加要件による選考を行ったうえで、申し込み順とさせていただきます。

2. 実施主体

内閣府沖縄型産業中核人材育成事業の委託を受けた「一般財団法人沖縄県環境科学センター」が実施します。

3. 募集内容

(1) 育成の対象者および参加要件

本プロジェクトの育成対象者は本研修の全日程に出席可能^{注1)}であり、以下に示す参加要件①～②のいずれか、かつ③を満たし、観光業に3年以上の実務経験を有する者とします。

- ① 観光協会をはじめとする公共性の高い観光系団体または観光関連事業に従事している者。
- ② 現場でツアーコンダクターを行う事業者など上記以外の受講希望者の場合には、「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーター育成実行委員会」が研修への参加意欲があり、受講生にふさわしいと個別に判断した者。
- ③ 占有的に使用できるノート型パソコンやタブレット端末があり、ネット環境が整備されている。インターネットと Microsoft Word、Excel、Power Point の操作が十分にできる者。

注1) 冠婚葬祭など特別な事情がある場合を除きます。業務による欠席は認められません。

(2) 募集定員

35名程度

(3) 応募書類

- ・参加申込書（参加申込フォームにて入力 または Excel ファイルのメール送信）

(4) 応募方法

(3)の応募書類（参加申込書）に必要事項を記入の上、下記 URL の参加申込フォーム（Google フォーム）より、ご応募ください。参加申込フォームが利用できない方は、下記 URL よりダウンロードいただいた Excel ファイルに必要情報を入力いただき、下記宛先まで Excel ファイルを送信願います。

<参加申込フォーム URL>

<https://forms.gle/7AZMqu5dMYJa7JSBA>



<ダウンロード URL>

<https://www.okikanka.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/07/RequestForm.xlsx>



<宛先> 〒901-2111 沖縄県浦添市経塚 720 一般財団法人 沖縄県環境科学センター

Email アドレス：wellness@okikanka.or.jp

(沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーター育成プログラム 宛)

(5) 募集期間

令和4年8月19日（金）まで（必着）

4. 研修受講者の決定

- ・研修受講者は、申込者の職務経歴や志望動機等をもとに参加要件を満たしているか考慮したうえで、本事業の実行委員会が決定します。
- ・研修受講者の仮決定については、個別に通知します（令和4年8月22日（月）を予定）。

注）本決定は8月23日に予定している実行委員会で承認を行いますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。なお、申込書類等の記載内容に事実と異なること等があると判明した場合は、通知後であっても受講を取消すことがあります。

5. お問い合わせ

「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム」事務局
(一般財団法人沖縄県環境科学センター内)

TEL：098-875-5208 Email アドレス：wellness@okikanka.or.jp 担当：アカミネ、トウマ、オカダ
※恐れ入りますが、問い合わせは、原則メールにてお願いいたします。お電話の際は、「ウェルネスツーリズム」の件で問い合わせいただいた旨お伝えください。

研修カリキュラム（予定）

注）カリキュラムは現在作成中のため、一部変更となる可能性があります。

■事務局による講座の初回ガイダンス／第1回

8月26日(金) 13:00～15:00 : オンライン開催

▶説明：（一財）沖縄県環境科学センターSDGs事業実行班 赤嶺 匠（事務局）

本育成プログラムの講座を本格的にはじめる前に、ウェルネスツーリズムコーディネーターに要する力の特性をダイアグラム図で解説する。解説後、研修生はアンケートに回答し、回答から算出された自身の初期ダイアグラム値を把握する（結果は次回以降配布）。

■第2-5回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策

9月9日(金) 9:00～17:30 : オンライン開催

第2回 ウェルネスツーリズム概論／座学

▶講師：国立大学法人琉球大学 国際地域創造学部 観光科学研究科 教授 荒川 雅志 様

最も成長著しい観光形態であるウェルネスツーリズムについて、最新の定義、対象領域、国内外の先進事例について学び、世界的動向を把握する視点を養う。

第3回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策Ⅰ／座学

▶講師：兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 准教授 高橋 伸佳 様

コロナ禍であらゆるツーリズムに安全・安心衛生対策が必須かつ最上位課題となっている。本講では「観光衛生マネジメント」の理論と実際を学ぶ。

第4回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策Ⅱ／座学

▶講師：（一財）沖縄県環境科学センター 衛生科学部 徳松 安巳彦（事務局）

ツーリズムにおける安全・安心衛生対策には様々な現場に即した体制整備、管理運営、検査手法がある。講ではその主要な事例から学ぶ。

第5回 ／アンケートの実施および提出

▶説明：（一財）沖縄県環境科学センター SDGs事業実行班 赤嶺 匠（事務局）

第2～4回の講座に関する研修効果の検証のためのアンケート（提出課題）を実施。

■第6-9回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生・地域・社会・歴史文化

10月6日(木) 9:00～17:30 : オンライン開催

第6回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生Ⅰ／座学

▶講師：恩納村農業環境コーディネーター 桐野 龍 様

内なる環境（健康）と外部環境、自然との共生を図るウェルネスツーリズムの理解促進のために、本講ではサステナブル（持続可能）をテーマにした国内外の事例から学ぶ。

第7回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生Ⅱ／座学

▶講師：（株）ラグーン 池野 正一 様

自然環境を「ウェルネス資源」としてどのように活かせるか、本講では健康癒し・気づきのウェルネスメニュー開発事業者の事例に学ぶ。

第8回 ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化／座学

▶講師：（株）南都 高橋 巧 様

地域住民の真正で生き活きとした暮らしがウェルネスまちづくりに繋がり、誘客に成功する国内外の事例を観光地経営の視点から学ぶ。

第9回 ／アンケートの実施および提出

▶説明：（一財）沖縄県環境科学センター SDGs事業実行班 赤嶺 匠（事務局）

第6～8回の講座に関する研修効果の検証のためのアンケート（提出課題）を実施。

■第 10-13 回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル・DX 社会

11月4日(金) 9:00~17:30 : オンライン開催

第 10 回 ウェルネスツーリズムと DX 社会) / 座学

▶講師：(一財) 沖縄県環境科学センター SDGs 事業実行班 赤嶺 匠 (事務局)

ウィズコロナ/アフターコロナで DX 化が求められる今般、業務やサービスへデジタルを取り入れていくために DX 化すべきポイントとマインドを学ぶ。

第 11 回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル I

▶講師：EM ウェルネス 暮らしの発酵ライフスタイルリゾート 西瀨 泰 様

ウィズコロナ/アフターコロナで危機にあえぐ飲食業にウェルネスはどう生かせるか。持続可能な飲食ビジネスのあり方について学ぶ。

第 12 回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル II

▶講師：(株)星野リゾート沖縄読谷事業所 総支配人 澤田 裕一 様

ウィズコロナ/アフターコロナで危機にあえぐ宿泊業にウェルネスはどう生かせるか、持続可能な宿泊業のあり方について学ぶ。

第 13 回 / アンケートの実施および提出

▶説明：(一財) 沖縄県環境科学センター SDGs 事業実行班 赤嶺 匠 (事務局)

第 10~12 回の講座に関する研修効果の検証のためのアンケート (提出課題) を実施。

■第 14-16 回 持続可能なウェルネスツーリズム事業 フィールドワーク・技能実習

11月26日(土) 9:00~17:00 : リアル開催 ※開催方式を変更する可能性あり

第 14 回 持続可能な自然・環境共生 / フィールドワーク

▶講師：恩納村農業環境コーディネーター 桐野 様 / (株)ラグーン 池野 様

自然環境の保全と観光利用の両立を実践する事業者への現地視察・ヒアリングおよび体験実習から、沖縄の持続可能な観光のあり方を学ぶ。

第 15 回 ウェルネスツーリズムと DX 社会 / フィールドワーク

▶講師：(一財) 沖縄県環境科学センター 環境科学部 三部 碧 (事務局)

ハードウェア (ドローン) の活用と関連ソフトおよび API から、DX 時代の新たなコンテンツを学ぶ。

第 16 回 安全・安心・衛生対策 / 技能実習

▶講師：(一財) 沖縄県環境科学センター 衛生科学部 徳松 安巳彦 (事務局)

観光先進地と呼ばれる沖縄が実際にどのような安全・安心衛生対策の現状にあるか、点検ポイントを踏まえ実技と現地視察から学ぶ。

■第 17-18 回 持続可能なウェルネスツーリズム事業企画提案グループワーク

11月27日(日) 9:00~17:00 : リアル開催 ※開催方式を変更する可能性あり

第 17 回 持続可能なウェルネスツーリズム事業企画提案 / グループワーク I

▶講師：国立大学法人琉球大学 荒川 様 / (一財) 沖縄県環境科学センター 赤嶺 (事務局)

持続可能なウェルネスツーリズム事業プラン制作の課題に、参加者は少人数のグループに分かれ、これまで学んだ知識を生かした企画提案を制作する。

第 18 回 持続可能なウェルネスツーリズム事業企画提案 / グループワーク II

▶講師：国立大学法人琉球大学 荒川 様 / (一財) 沖縄県環境科学センター 赤嶺 (事務局)

持続可能なウェルネスツーリズム事業プランの企画提案を発表、有識者らの採点ポイント、講評をもとに総括を行う。